

写真-1 第2回災害支援合同訓練

整備を女性目線でなでしこパトロールを実施した。訓練後は、合同訓練の反省会を開催し、「安全」、「品質」、「連携 BC」、「女性雇用・環境」の 4 分科会を開催し、それぞれの担当部会で意見交換会を行った。当初は災害時各会社の地域特性や災害リスクが異なるため、短所を補うことができれば事業継続につながるという考えから始まったが、災害対応だけでなく平常時から多様な共通の課題を連携して取り組むことにより各会社の企業力向上へつながる取り組みに変化しつつある。第 2 回災害支援合同訓練を写真-1 に示す。

平成 28 年 11 月には、国土交通省を中心に ICT 技術を前面活用し土木工事を行う i-construction の導入が進められ、(株)福井組の現場にて導入している ICT 技術の現場見学会を行うとともに、BC 連携企業による「なでしこパトロール」を実施した。女性の為の土のう製作体験もあり、初めての体験する者が多く貴重な経験になった。ICT 施工見学会・パトロールを写真-2 に示す。平成 29 年 2 月には岡山県でも訓練等が実施され、着実に連携先との交流・意見交換が進んでいる。



写真-2 ICT 施工見学会・なでしこパトロール

3. BC 連携を通じて取り組めることの発見

平成 26 年度から本格的な BC 連携を開始し、合同訓練や意見交換会を行った。活動を通じて、女性でも出来ることがあることが数多く見つけられた。災害対応時の最前線には男性の力が絶対的に必要だと思われるが、安否確認や情報収集、連絡調整等はいかに活躍できる場があり、災害時の各企業の経理面でもバックアップ体制が整えられると考えられる。また、炊き出しでは、女性の存在は必要不可欠であり、期待してもらいたいところである。また、女性目線での「なでしこパトロール」を通じて、普段では全く交流のない女性社員の意見交換が出来たことも、災害時の自分の役割を考える場になっている。

さらに、他社の現場見学で得られた事を自社の現場に取り入れることができる事があり、絶対に目につく安全標語をトイレに掲示したり、防音装置を設置したりするなど自社の現場にも反映している。

4. 今後の課題

このように、なでしこ BC 連携を通じて、災害時の対応体制を構築している。将来も企業を存続させるために、この連携において、どのような取り組みを行えば、各企業の企業力向上につながるのかを今後の課題として示す。

- ・合同訓練を行うことにより、各企業の事業継続力強化
- ・各企業が抱える様々な課題に対応する企業訪問・分科会等による意見交換、ベンチマーキング
- ・「なでしこパトロール」実施による工事現場の安全衛生面・作業環境の整備
- ・「なでしこパトロール」を通じての、建設業の若年者・女性雇用の促進
- ・現場見学会による施工能力向上

共通の課題に取り組むことで、各企業の企業力向上を目指し、連携強化を進めていく。

5. 謝辞

徳島大学環境防災研究センター 中野晋先生には、本論文の作成についても多くのご示唆を賜りました。記して謝意を表します。